

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和4年度 第1期（オンライン研修）

「応急活動・資源管理」コース

交流会：R4年9月26日（月）16：30～17：00

受講期間 オンデマンド：R4年9月12日（月）～9月25日（日）

リアルタイム：R4年9月30日（金）13：00～16：30頃

【各講義の内容と学習目標】

| 手法 | No. | 単元名 | 単元の概要 | No. | 時間 | 講師名 | 学 習 目 標 | | | |
|--------|-----|--------|-------------------|--|-----------|--|------------------------|---|--|--|
| オンデマンド | 講義 | 0 | コース紹介 | 0 | 7分 | 松永 正大 (元 全国物流ネットワーク協会) | | | | |
| | | 1 | 応急活動・資源管理総論 | 応急活動の流れと資源管理に関する基本的な考え方について学ぶ。 | 1 | 64分 | 宇田川 真之 (防災科学技術研究所) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 応急活動の流れと業務の概要について説明できる。 ・ ロジスティクスの考え方について説明できる。 ・ 応急活動と求められる資源管理について説明できる。 | | |
| | | 2 | 初動対応における国との連携 | 国における初動対応の内容とその連携のあり方について学ぶ。 | 2 | 24分 | 重森 哲也（内閣府） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 政府の初動対応について説明できる。 ・ 具体的な応急対策活動に関する計画について説明できる。 ・ 政府と被災地方公共団体との連携について説明できる。 | | |
| | | 3 | 地方公共団体間の相互応援と受援体制 | 災害時の行政機関の間で行われる応援受援の仕組みと受援体制について学ぶ。 | 3-1 | 50分 | 高橋 昌史・原章仁（内閣府） | ・ 応急活動の実施にあたっての行政職員の確保の重要性を説明できる。 | | |
| | | | | | 3-2 | 28分 | 山口 研悟（総務省） | ・ 行政機関の間で行われる応援受援の仕組みを説明できる。 | | |
| | | | | | 3-3 | 48分 | 田代 崇憲（大野城市） | ・ 行政機関の応援受援を円滑に行うための留意点を説明できる。 | | |
| | | 4 | 災害廃棄物処理 | 被災地における資源確保の例として、災害廃棄物の撤去・処理の進め方と留意点を事例に基づき学ぶ。 | 4-1 | 34分 | 小早川 鮎子 (環境省) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害廃棄物処理の概要を説明できる。 ・ 災害廃棄物処理における資源管理と応援受援を説明できる。 | | |
| | | | | | 4-2 | 43分 | 渡邊 高之 (常総市) | | | |
| | | 5 | 救援物資の調達/救援物資の輸配送 | 救援物資の調達に関する実務と課題について学ぶ。 | 5-1 | 35分 | 西室 幸徳 (コメリ災害対策センター) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の民間企業・団体からの調達の実態について説明できる。 ・ 救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための留意点を説明できる。 ・ 救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための備えを説明できる。 | | |
| | | | | 救援物資の輸配送に関する実務と課題について学ぶ。 | 5-2 | 27分 | 上野 潤 (佐川急便) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の輸配送の実態について説明できる。 ・ 救援物資の輸配送を民間企業・団体と連携して行う際の留意点を説明できる。 ・ 救援物資の輸配送を円滑に行うための事前の備えを説明できる。 | | |
| | | 6 | 活動拠点・環境の確保 | 応急活動を行うために必要となる活動拠点や通信サービス等の確保について学ぶ。 | 6-1 | 25分 | 百田 将（高知県） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動拠点・環境の確保のための事前準備について説明できる。 ・ 災害発生時において、応急活動を行うために求められる空間確保（道路網、活動拠点等）について説明できる。 ・ 災害発生時において、応急活動を行うために求められるサービスの確保（燃料等）について説明できる。 | | |
| | | | | | 6-2 | 39分 | 中村 行男 (全国石油商業組合連合会) | | | |
| | | | | | 6-3 | 29分 | 柴藤 廣公（日本水道協会） | | | |
| | | | | | 6-4 | 25分 | 矢田 照博（東京電力） | | | |
| | | 7 | 救援物資ロジスティクス演習 | 救援物資の調達から輸送・保管・配布における留意点などを演習形式で学ぶ。 | 7 | 32分 +α | 内閣府（防災デジタル・物資支援担当） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の調達業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。 ・ 救援物資の倉庫業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。 ・ 救援物資の輸配送業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。 | | |
| | | リアルタイム | 演習 | 8 | 資源管理演習 | 災害対策本部における資源（人的、物的、空間・サービス）の確保、管理における留意点などを演習形式で学ぶ。 | 8 | | 宇田川 真之 (防災科学技術研究所) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な機関と連携して業務を実施する際の課題解決のための着眼点を説明できる。 ・ 応急活動を効果的に実施するために求められる活動拠点等を確保するうえでの着眼点を説明できる。 |
| | | | | 9 | 質疑応答・意見交換 | 防災力アップのため、災害時の物資物流と広域的な応援体制について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考える。 | 9 | | 松永 正大 (元 全国物流ネットワーク協会) 宇田川 真之 (防災科学技術研究所) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。 |